

2023.10.01. 聖書預言・アップデート 最後の藁

JD フラッグ牧師

主よ、あなたがこの時間、私たちに準備が出来るよう私たちの心を整えて下さい。あなたの来臨に備え、私たち家族キリストの体が準備できるよう祈ります。今朝、御言葉で私たちに語ってくださいますか？ 私たちを励ましてくださいますように。あなたは、私たちに必要なことをご存知です。私たちが御言葉を学ぶため集まれるようあなたが与えて下さったこの場所、この教会をあなたに感謝します。今朝、JD 牧師が御言葉を届ける時共にいてください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。アーメン、アーメン。おはようございます。ようこそ。どうぞご着席ください。来て下さり大変嬉しいです。オンラインで参加の方も、見て下さり大変嬉しいです。見て下さって、祝福されると信じています。始める前に、2～3お知らせです。まずは、今週の火曜日夜7時からこの礼拝堂で、祈り会をします。今週の火曜日、是非いらっしゃって一緒に祈りましょう。それから、マウイの最新情報です。いくつか悲しい知らせがあります。ローリー・アレンについてです。ペリーから昨日の朝、受け取ったテキストメッセージ、そしてスティーブ・サントス牧師の文章の一部を皆さんに分ち合います。ペリーから連絡がありました。

『私の最愛の美しい勇敢な妻は、29日金曜日、午後3時20分主のもとへ旅立ちました。彼女がいなくてどれほど寂しいか、言葉では言い表せません。』

スティーブからは事前に私へメールが来ていて、彼女はとても安らかに、家族に囲まれて旅立ったそうです。「ローリーの心と生きる意志は、ペリーと一緒にいるため生き続けようと強く戦っていました。しかし彼女の体は、ご存知の通り実際73%火傷を負ったため大変弱っていき、その負傷と多くの手術から、

生命維持に最重要な臓器が停止を引き起こしました。私たちは皆、彼女を愛し、ペリーのためにずっと祈ってきました。私たちは皆、心を痛めています。私はイエス、私たちの苦しみを慰めて下さるイエスに

心から感謝します。特に、イエスが今ペリーや家族と一緒におられこれを読んでいる間も、イエスは生きておられ、このような時、イエスが私たちの生きている唯一の望みです。イエスは、私たちに約束されているすべてで、良いお方です。ペリーから、みんなに知らせてくれと頼まれました。まず第一に、彼はとても感謝し、お礼を言っています。でも、今は彼に電話をしないでください。彼は色んなことにとっても多忙で、彼はこの7週間ローリーと過ごせ、彼女に会って話をし、最後の数日、数時間を慈しみながら一緒にいられたことを神に大変感謝しています。ペリーの方から連絡が来るでしょうから。これから数日間、彼らを祈りの中に覚え、イエスと共に歩むペリーのため祈って下さい。でもローリーはもういません。J.D. 大好きだよ。スティーブより。」

ペリーとローリーの物語が終わったとは感じていません。これにはいくつか理由があって、そのひとつが、実は彼女についての全国ニュースです。改めて心から思うのは、

これは悪の謀らいです。しかし、神は。こんにち多くの人の救いのため良いことになさいます。

(創世記 50:20 参照)

とはいえ、どうかペリーとご家族、マウイの人々のため祈ってください。まだ知られていないこと、あるいはあまり知られていないことがあって、ローリーは本当は、外に出られるはずでしたが、出ませんでした。彼女は、まだ中にいた年老いた家主を助けようと、再び炎の中に入っていました。その後、

炎に巻き込まれ、脱出しなければならなかった。人々はそれに気づきませんでした。それが起ったことが起こった理由です。繰り返しますが、どうかペリーののために祈ってください。それでは始めましょう。日曜日の朝は2つの礼拝があって、第一礼拝は「聖書預言・アップデート」、毎週長年してきています。第二礼拝は「聖書の学び」、神の御言葉の節ごとの学びです。現在「第一ヨハネの手紙」で、今日の箇所は5章14節15節の2節です。私たちが見てくのは、祈りへのアプローチや祈りに対する見方を変えることで、人生を変えられる方法とその理由です。それを、オンラインの方、ハワイ時間11時15分からライブ配信します。ユーチューブやフェイスブックでご覧の方は、ウェブサイト [JDFarag.org](http://JDFarag.org) に直接行かれ、中断なし、検閲なしの今日の「聖書預言・アップデート」を丸ごと是非ご覧になるのをお勧めします。では始めましょう。有名な慣用句「最後の藁」を拝借します。そうするのは、この危険な終わりの時に、私たち全員が励まされることを願うからです。この慣用句の媒体に関する定義や説明はたくさんありますが、実は、元は別の格言に由来していて、皆さん耳にしたり、自身で言ったこともあるでしょうが、「我慢の限界」「堪忍袋の緒が切れる」です。「最後の藁」、言わば「終わりの藁」が、究極の限界点をもたらすまでの、ぎりぎりの状態にいるという考えを伴います。

ではこれが聖書預言にどう適用するのかと質問する人たちのために、シンプルに言うと、私たちはその時点にいます。こんにちの世で起こっているあらゆることは、きっとこう言及するのがより良いでしょうが、全ての聖書預言が、こんにち展開されていて、迅速に「最後の藁」になっています。ですから時間の問題です。しかしながら、これは、ほとんどの人に当てはまりませんほとんどの人が、まだこの世に希望を抱いているからです。理由があって、「ほとんどの人」と言っています。”公言するクリスチャン”の大多数は、何とか事態が好転する可能性がある、あるいはまだ好転するかもしれないという希望を持っています。おそらくこのことは、弁解ではなく、説明になるのが、ほとんどの公言するクリスチャンが、患難時代前携挙についてを語ろうとしない理由でしょう。さらに悪い事に、そのような人たちは、患難前携挙について熱く語ろうとする人に対して、預言警察を気取っているように見えます。これが、言わばそれ自体が終わりの日、「最後の藁」だと言ったらどうでしょうか。

なぜか？ そう、聖書預言はこれが正に終わりの時に起こると告げているからです。「第二ペテロの手紙3章」の預言を皆さん良くご存知でしょう。よろしければ、3節4節を読みたいと思います。使徒ペテロが聖霊によってこう書いています。

#### —II ペテロ 3:3—

まず第一に、心得ておきなさい。終わりの時に、嘲る者たちが現れて嘲り、自分たちの欲望に従いながら、

興味深いですね。

#### —II ペテロ 3:4—

こう言います。「彼の来臨の約束はどこにあるのか。父たちが眠りについた後も、すべてが創造のはじめからのままではないか。」

先週水曜日に受け取ったコメントを共有したいと思います。これは特に、この「最後の藁」の蔓延が顕著なことを物語っています。「ファラグ牧師へ、真理を語って下さってありがとうございます。私たちは携挙についての真理を聞く必要があります。とても勇気づけられる教えだし、起こるまで、さほど時間はありません。...それから彼女はこう仰っています。私は悲しく感じます。...人々が携挙を嘲笑するとき。あなたとあなたの家族、教会家族に神の祝福がありますように。」

先週、主との時間の中で、私たちの祝福された希望「携挙」について、主に問い求めました。使徒パウロも語るように、その励ましの御言葉は、

**「ですから、これらのことばをもって互いに励まし合いなさい。」(Iテサロニケ 4:18)**

何のことば？ おお、そのことばは、患難時代前携挙の健全な教義です。「互いに励まし合いなさい。」お付き合いいただきたいのは、そうすることで、私は、私たちの主であり救い主イエスが間もなく必ず、7年間の患難時代前教会携挙で現れることを待ち望み、見張るよう私たちを励まし、勧告し、訓戒する多くの聖句について熟考しました。私はこれするたびに、最近、多くなっていることに気づきました。私はいつも、患難前携挙を期待し、その準備にワクワクしていた人たちが誰をも叱責する聖句が一切ないことに驚かされます。ひとつも見つけられません。実際の真理は、その反対が真理で、実は叱責や戒めが、携挙を見張っていない者、準備ができていない者、期待していない者、待ち望んでいない者に向けられています。何が私にとって悲しいかと言うと、主はこの点に関しての私の心をご存知です。この言葉を引用する人が後を絶たしません。

**「その日、その時がいつなのかは、だれも知りません。」(マタイ 24:36)**

それは批判ではありません。それはユダヤの慣用語です。皮肉なことに、まさしくラッパの祝祭に関連しています。何が興味深いかと言うと、聖書に記されている中で最も厳しい叱責は、救い主ご自身がご自身の来臨に関して当時の宗教指導者に向けられ、語られたものです。「マタイの福音書16章」です。皆さんこの記述もご存知ですね。マタイが聖霊によって書いています。1節、

—マタイ 16:1—

**パリサイ人たちやサドカイ人たちが、... (彼らは近づいてきて、離れて行きます) ...イエスを試そうと近づいて来て、天からのしるしを見せてほしいと求めた。**

—マタイ 16:2—

**イエスは彼らに答えられた。「夕方になると、あなたがたは『夕焼けだから晴れる』と言い、**

—マタイ 16:3—

**朝には『朝焼けでどんよりしているから、今日は荒れ模様だ』と言います。...**

**偽善者たちよ。(マタイ 15:7)**

聖化された強さをお許しく下さい。それは、救世主ご自身が偽善者に仰ったことばです。「偽善者たちよ。」

**...空模様を見分けることを知っていながら、時のしるしを見分けることはできないのですか。**

イエスが語られたこの言葉の重要性は、いくら強調してもしすぎることはありません。それほどまでに、主から他の指示がない限り、そうでなければ、早ければ来週にも、御心なら、私たちがまだここにいるなら、この問題に対する別のアップデートに全てを捧げるつもりです。皆さんのお祈りを切にお願いします。もし私がそれをすれば、いつも起こることですが、悪意と卑劣に満ちた膨大で多数の攻撃があります。同情を求めているのではなく、ただどうかお祈りください。私はかなり皮膚が厚いです。ある人が語った通り、あなたがミニストリーにいたいなら、特に、聖書預言を教えたいなら、子どもの心、学者の思考、サイの皮膚を持つ事。でなければ、長くは続きません。

「OK。牧師さん、なぜそんな風に始めるのですか？」理由は、前述の嘲り、さげすみ、嘲笑、高慢な態度で見下すように非難することは、聖書の中の終わりの時の「最後の藁」の多くの預言のひとつです。よろしければ、終わりの時、「最後の藁」と愛称する預言を5つ列挙した略表をお見せします。

	預言	聖句
1	患難前携拳とキリスト再臨への嘲り	Ⅱペテロ 3
2	エルサレム分断への執念に酔いしれる（二国家解決）	ゼカリヤ 12:1-3
3	7年間の和平契約の強化／確約(SDG)	ダニエル 9:27
4	世界統一宗教、世界統一政府、世界統一経済の形成	黙示録 13, 17, 18
5	世界規模の大虐殺による世界人口の減少	マタイ 24:21-22, 黙示録 18:23

1つ目は、私が一番に挙げたもので、「第二ペテロの手紙3章」の預言です。画面は、一目でわかるチャートです。1つ目は、先ほど既に指摘しました。御心なら、また来週指摘します。なので今は2つ目からです。終わりの時の「最後の藁」の抜粋リスト5つの内の2つ目、すなわち、

## 2) エルサレム分割への飽くなき執着

私たちはこれを引用：「二国家間解決」で知っています。間違っははいけません。それはヒットラーの「最終的解決」の包み直しです。私の話の向かう先は、このいわゆる「二国家間解決」は、イスラエルの平和ではなく、イスラエルを破壊し、根絶するためです。皆さんご存知だと思います。感謝な事に、それについての預言があります。「ゼカリヤ書12章」最初の3節です。皆さんご存知だと思いますので、大まかなところを説明します。神ご自身が、預言者ゼカリヤを通して語られます。緩い言い換えをお許し頂きたいのですが、基本的にこう仰っています。

「わたしはエルサレムに文字通り、わたしの名を置く。(Ⅰ列王記 11:36 Ⅱ列王記 21:4 参照)

あなたがエルサレムを分割したいのなら、わたしがあなたを分割し、切り刻む。エルサレムは、重い石とする。それを動かしたいのですか？ しようなどと考えない方が良い。」

繰り返しますが、緩い言い換えです。強調効果を入れました。でもそれが要点です。その預言が示すのは、人々は、エルサレムを二国家に分割する事に酔いしれ、飽くなき執念によるめく。ユダヤ人とパレスチナ人が隣同士で、「平和と安全」に暮らす。(中東訛りで発言中) そんな感じなのです。それは「第一テサロニケ5章3節」でしょ。人々がこの2語を言っているとき、「平和だ安全だ。」または「平和だ安心だ。」

突然の破滅が彼らを襲います。そして彼らは、妊婦に産みの苦しみが臨むように、逃れることは出来ません。それが、「第一テサロニケ人への手紙5章3節」の預言で、「ゼカリヤ書1章最初の3節」と合致しています。また「ヨエル書2章」ともです。どういう意味ですか？ 言い換えれば、終わりの時、「最後の藁」の預言は、全国家が中東に、「二国家間解決」で”平和”をもたらそうとする。そのため彼らは、重い石、境界石を動かし、エルサレムを分割、切り分けようとする。それが今起こっています。画面は、HAARETZが掲載した記事の見出しのスクリーンショットです。

ー引用ー

「パレスチナ人、サウジ主導の二国間解決フォーラムに満悦。」

見出しから簡単に引用します。

ー引用ー

「イスラエルとパレスチナの代表が会議に参加していないにもかかわらず、パレスチナのアッバス議長は、サウジの二国家解決への取り組みに満足の意を表明した。」おお、イスラエルはこの件についてど

う言っているのか？ イスラエルは、サウジの和平合意、ひいては、聖書預言通り、どのような合意であれ、間違いなく付随してくる二国家解決に、同義的かつ同時に賛同しているのか？ ええ、その答えは、『タイムズ・オブ・イスラエル』紙の見出しが一目瞭然です。

ー引用ー

「ネタニヤフ首相は国連で、イスラエルはサウジアラビアとの歴史的和平の”寸前”にあると発言。」  
2, 3週間前の木曜日の夜の礼拝でこれについて話しました。現在「エゼキエル書」の学びだからです。今週の木曜日はエゼキエル書27章だと思えます。牧師が自分が教えているのが何章かを知っていれば、きっとよろしいでしょうけど、先週、25章26章を学び終わりました。今週27章で、30章台に近づいています。私の話の向かう先がお分かりですね？ 38章。「エゼキエル書38章13節」は、現代のサウジアラビアの古代名：シェバやデダンの大変詳細な預言です。この預言は大変具体的な詳細で、ロシア・イラン・トルコ率いる連合国が、北からイスラエルに侵略し、イスラエルから戦利品を略奪します。(エゼキエル 38 参照)

サウジアラビアや湾岸地域の国々は、すでにイスラエルと良好な外交関係、イスラエルとの和平を築いているため、この連合国に抗議します。(エゼキエル 38:13 参照)

誰が知っていたでしょうか。神はご存知でした。私は覚えていますよ。これを何年も教えて来て、何年も何年も前に、こんな風にこの「エゼキエル書38章」の預言をこう話したのを覚えています。

「いつかサウジアラビアがイスラエルと和平条約を結ぶ日が来ます。」  
今、皆さんが私を見ているように、人々が私を見ていました。「あり得ません。」あり得ました。こんにち、サウジアラビアは、ユダヤ人とパレスチナ人に「二国家解決」で隣同士で「平和と安全」をもたらそうとしています。わお～この深く預言的な投稿からの引用を聞いて下さい。

ー引用ー

「金曜日、国連総会に登壇したベンヤミン・ネタニヤフ首相は『イスラエルは和平の寸前にいる』と発言。」因みに彼は私の言葉（寸前）を盗みました。自分のネタを使いなさいよ！ 私が使ったのですよ。こう言いました。「私たちは携挙の寸前にいる。」ネタニアフは、私から盗みましたね。盗作だと呼べると思えます。

ー引用継続ー

「イスラエルはサウジアラビアとの歴史的和平合意の寸前にいて、彼は中東が一変するだろうと予測した。このような和平は、アラブ・イスラエル紛争を終結させるため大きな役割をはたすだろう、とネタニヤフは12回目の集会で演説した。それは、他のアラブ諸国にもイスラエルとの関係正常化を促すことになる。パレスチナ人との和平の見通しも高まるだろう。それは、ユダヤ教とイスラム教の間、エルサレムとメッカの間、イサクの子孫とイシュマエルの子孫の間のより広い和解を促すだろう。これらはすべて、とてつもなく大きな祝福だ。ネタニヤフ首相は、未来を祝福と呪いと選択として示し、聖書の語彙をもって演説を構成した。今週初めにイーロン・マスクと人工知能について議論した際も、彼は同様のアプローチを使った。」

何ですって?! 待って。何て？ 何て？ 待って、待って。ちょっと待って。あなた、ちょっと時間を下さいって、じゃあ私たちは？ あなたには、もうその時間があつたでしょ。OK。あなたにもお時間を差し上げましょう。よく考えて下さい。今私が読んだことを、よく考えてみて下さい。

「イサクとイシュマエルの子孫を一緒にし、それがとてつもない祝福で、中東を一変する和平の寸前に

いて、で、ユダヤ教とイスラム教を結びつけたいから祝福と呪いの二者択一を示されて、ユダヤ教徒とイスラム教徒が共存することを望み、結局のところ、皆同じ神を崇拝しているから。」

ふむ。。おお、待って下さい。ネタニアフさん、あなたは、同じようなアプローチ方法を使って、人もあろうにイーロン・マスクと会談した。私は不思議に思います。彼はまだ完全に人間なのでしょうか。言ってみただけ。イーロンとの会談、人工知能について議論したとき、あなたの彼へのアプローチは同様だった。何が起きているのでしょうか。何が起きているのか、私がお話ししましょう。聖書預言が起きている。これは正に、私たちに語られている通りのことが起こるのです。このことが、終わりの時の「最後の藁」の3つ目の預言に繋がります。すなわち、ダニエル書9章27節の「7年間の和平合意の強化/固める。」ここが本当に本当に興味深くなっていく所です。繰り返しますが、ダニエル書9章27節の預言は、7年間の患難時代の詳細な預言で、実際に、7年間の中間点の3.5年の時の事まで、さらに具体的に書かれています。反キリストが神の宮に自分を据え、自分こそが神だと宣言し、神として自分を礼拝するよう宣言し、荒廃をもたらす忌まわしいことをする時です。イエスは「ダニエル書9章27節」の預言を「マタイの福音書24章」で参照しておられます。つまり、私たちは「平和」「7年間」などという言葉を目にしたら、注意を払うべきです。それがここにあります。それは、見たところ現在SDGsと呼ぶものに組み込まれる形でもたらされています。これについては、話しましたね。SDGsは「持続可能な開発目標」17項目。興味深い数です。「アジェンダ2030」による2030年までに達成の17項目の「持続可能な開発目標」です。画面は、国連経済社会局のウェブサイトのスクリーンショットです。

これについては、最近のアップデートで詳しく取り上げています。実に、彼らはこう述べているので、今日も話します。ここで出て来る単語に皆さん注目してくださいね。いいですか？「再生させる」「強化する」「固める」「加速させる」「平和」のための新しいアジェンダ（計画）そして彼らには、7年間必要だとも言及しています。持続可能な開発目標達成のための変革的行動を加速させるために。9月14日、国連発表の記事に入ります。タイトル：「パレスチナにおける持続可能な開発目標の国家計画への取り組み」ここで止めます。パレスチナではありません。パレスチナ人なんて存在しません。私は、母がパレスチナ人だから、私はパレスチナ人だと言われ、教えられて育ちました。19歳で、イエス・キリストの救いに辿り着いて、初めて聖書を6か月で通読しました。私は本を読むのが少し遅かったのです。そして、いわゆるパレスチナ人は、古代のペリシテ人と考えられていると学びました。ペリシテは、パレスチナまたはフィリスティーンと音訳されるからです。事実、彼らはこう名付けました。これについて木曜日に話しましたから、今日は深入りしませんが、ローマ軍が、実際にイスラエルをアエリア・カピトリナと名付けました。それが長すぎたので、短くしてペリシテと名付け、それがパレスチナと訳されました。ダビデ王は、ペリシテ人を絶滅させました。もうペリシテ人はいません。では彼らはなぜ、パレスチナ人と呼ぶのか。1948年まで、ユダヤ人は、パレスチナ人と呼ばれていたのをご存知ですか？ローマ軍が、パレスチナと名前をつけ変えたからです。OK。あ〜 いや、止めておきます。ごめんなさい。マズすぎます。誰かがそんなことするの大嫌いですよね。「お〜！でも言えない。」ごめんなさい。いや、言わない方が良いです。言いたいのですが、言えません。核心は、パレスチナという国家はありません。ですから、二国家解決はありません。この土地はユダヤ人のものです。エルサレムは実際、神のものです。神がイスラエルに与えられました。ですから、パレスチナ国家がこの平和協定/二国家解決を2030年までの7年間に、持続可能な開発目標において統合しようとしている。

私は、、、では、その記事を引用しようと思います。

ー引用ー

「9月4日と5日、UNESCWA と、...あなたは頭文字がお好きですね？ UNESCWA/国連西アジア経済社会委員会は、本拠地が、私の出生地レバノンです。...国連西アジア経済社会委員会とパレスチナ国家首相府は、「持続可能な開発目標」の”統合”に関する会議をベイルートで開催。その会議では「持続可能な開発目標のためのアジェンダ 2030」の国家代表団が参加し、2024年から2029年にかけての国家計画過程に持続可能な開発目標を統合するための手段、仕組み、課題について議論した。この会議は、イスラエルによる占領の影響を軽減するため委員会の努力の一環である。」待って。ではイスラエルが、パレスチナに属する土地を占領している？「イスラエルによる”パレスチナ領土占領”における開発と持続可能な開発目標達成に及ぼす影響。」領土占領だそうです。領土占領。(中東訛りで)それは逆さまですね。EVIL (悪) は、LIVE (生きる) の逆さま。私がこれを話す理由は、ええ、これは個人的に私の心に突き刺さります。私は中東出身だからです。アラブ人です。でもパレスチナ人ではありません。そして私は、イスラエルを愛しています。それで、こんな記事を読んで、いわゆるパレスチナ人についてのこんな記事を引用して、聖書預言の点と点を繋げると、どうにもちょっと熱くなって、そして携挙について少し興奮します。正にそうなると記されている通りが起こっているからです。終わりの時の「最後の藁」の預言、4つ目と5つ目を一緒に取り組みます。最後に終わりの時に、両方が密に繋がるからです。それが終わりが近いのではなく、ここにある理由です。たぶん私は毎週そう言うので、皆さん慣れた方がいいし、飽き飽きされないのを願います。では先に進みましょう。ここでユーチューブとフェイスブックでのライブ配信を終了します。もうウェブサイトで見られますように。

ー本編ー

では4つ目。終わりの時「最後の藁」の預言は、「世界統一宗教」「世界統一政府」「世界統一経済」の樹立です。これは「ヨハネの黙示録」の13章、また17章と18章にもあります。そして4つ目と繋がって展開される5つ目は、「世界的大虐殺での世界人口削減。」私がリストに上げたのは、この表にある2種の聖句です。1つは、「マタイの福音書24章」21節と22節です。イエスが、7年間の患難時代についてを語られている箇所、選ばれた民イスラエルのために、その日数が少なくされなければ、肉にある人間は、人類は誰も生き残れない。そして「黙示録18章23節」世界的大虐殺。地上の全ての国民が彼らの魔術(sorcery)で惑わされる。新約聖書原語のギリシャ語で、魔術(sorcery)は、ファルマキア、英語の薬局・薬剤の語源です。では私はなぜこの2つを選ぶのか？理由は、それが今起こっているからです。この2つの全てが、そうなると記されている通り起こっています。ですから、終わりの時に何が起こるのかが語られているのは、私たちが、終わりの時に何が起こるかを教えられた事を、終わりの時に知るためです。ですから終わりの時なのです。上手く伝わっていませんね。でもポイントは分かったと思います。分かったと言ってください。先に進めますので。(会衆：はい。) ありがとう。

これは地上にある国家への世界規模の欺瞞です。何らかの薬剤的解決によっ惑わされる。それは世界規模の欺瞞になる。それが世界規模の大虐殺になり、再度、イエスが語っておられるように、それは、私たちが知る人類史の最後の7年間で、7年間の患難時代は、想像を絶する恐怖で、世界人口の大部分が死ぬ。その一部は、キリストを拒絶する世に注がれる神の裁きで、神がそれに「これで終わり」と終止符を打ち、日数を短くされなければ、生き延びれる人間はひとりもいない。

「OK。牧師さん、何を言っているのですか？」彼らは既にそれを展開していると私は言っています。



まずは、PubMed に掲示されたこの記事から始めます。「VaCoChain」と新たに呼ばれているものについて。

ー引用ー

「将来のパンデミックのためのブロックチェーン基盤の 5G 補助 UAV ワクチン配布制度。」要約を読みます。リンクは全部貼っておきます。以下抜粋です。

ー引用ー

「本論文は、新型コロナウイルスや将来のパンデミック時、ワクチン適時配布の為第 5 世代 (5G) 通信サービスを基盤とした、ブロックチェーン (BC) と無人航空機 (UAV) 融合の包括的枠組み VaCoChain を提案。この枠組みは、地上管制局 (GC) を通じ監視する無人航空機通信ネットワーク (UAVCN) 向けの、5G-触知性インターネット (5G-TI) を基盤としたサービスを提供。従って、ワクチン製造倉庫 (VPW) からの往復遅延を減らし、政府指定の結節センター (NC) で段階にそった柔軟性あるワクチン配布のサポートを可能にできる。さらに、無人航空機通信ネットワーク (UAVCN) は、移動時間が短いため人間の介入を最小限に抑え、ワクチン接種後の健康状態を管理することが可能。」  
さらに悪くなります。ご辛抱ください。

「一旦、ワクチンが NC の倉庫に供給されると、BC は、VPW から NC までのサプライチェーンチェックポイントの時系列性、監査可能性、透明性と共に、タイムスタンプ付きワクチン接種者の書類を保証する。スマートコントラクト (SC) を通じ、年齢、医療従事者、一般的な日用品に基づき、ワクチン接種の優先グループを形成。」

皆さん分かりましたか？「我々は、無人航空機を使って人々にワクチンを散布。」「我々は、誰がワクチン接種したかしていないかを確認するため、ブロックチェーン技術を導入。」タイムスタンプがあります。尚ブロックチェーンとは、認証システムです。一旦取引されると、この場合、ワクチン接種が認証されると、チェーンにブロックが追加されます。でも認証されねばなりません。認証がブロックチェーン技術です。このブロックチェーン技術を新しい技術に利用、融合させるのです。ドローンらしいですね。私がおかしいと思うでしょうけど、どうぞ笑ってください。きっとそうだと思います。私をきちがいと呼んでください。もっと悪く呼ばれていますから。でも情報源は明かせませんが、信頼できる情報筋が教えてくれました。ある夜カイルアで、彼女は、カイルア上空に、ドローンが夜、飛び回っているのを見たそうです。おもちゃのドローンじゃありません。あなたが持っているドローンみたいじゃありません。BestBuy などで買うドローンではありません。あのかわいいやつ、かわいいおもちゃです。そうではなく、これらは軍用無人航空機です。夜間飛行を装い飛び回っています。彼らは何をしているのか？ お、もしかして、、、ふん。では、これはどうでしょう？ 嘘を信じたい人のために、これは別の陰謀論のひとつですけど、来週も、このことについて話さなければならぬかもしれませんが、陰謀論というフレーズは、CIA が作った造語で、邪悪な悪魔の陰謀の現実を否定するための心理作戦でした。それが陰謀論ということばです。それが陰謀です。以下も PubMed に掲示されたもので、引用します。

ー引用ー

「強制的、道徳的生体強化は秘密裏に行われるべきだ。」

この PubMed 論文は、先ほどの PubMed 論文と矛盾しないので、これを含めています。いわゆるワクチン接種が、任意接種でなく強制接種となり、義務化されることに関するもので、おそらく今既に実施されていて、結局のところ、それは秘密裏に行われ、私たちが知ることはできない、あるいは必ずしも知



らないことを意味します。OK。以下、要旨からの引用します。

ー引用ー

「道徳的な生体強化は義務であるべきだと主張する”理論家”もいる。私はこの議論をさらに一步進め、道徳的な生体強化が強制されるべきならば、(生体強化ですって?) その管理は表立ったものではなく隠密であるべきだと主張する。... その違い分かりますよね? ...つまり、強制的な道徳的生体強化は、受け手が強化を受けていることを知らずに実施されることが道徳的に望ましい。」

皆さんにお時間差し上げます。よく考えてみて下さい。

ー引用継続ー

「私の主張は、この道徳的生体強化が強制されるべきなら、その管理は公衆衛生の問題であり、そのため、公衆衛生倫理が適用されるべきだ。私は、強制的、道徳的生体強化プログラムの密かな管理は、表立った強制プログラムよりも公衆衛生倫理に適合していると主張する。特に、密かな強制プログラムは、自由、効用、平等、(そうだ、全員平等に殺せばいいんだ。) 自主性といった価値を、表立ったプログラムよりも促進する。したがって、秘密裏に強制される道徳的生体強化プログラムは、表立った道徳的生体強化プログラムよりも道徳的に望ましい。生体強化プログラムの仕組みは。」

これを皆さんのために訳してよろしいですか? しますけどね。準備はいいですか? 言いますよ。

こうです。邪悪な悪霊に取り憑かれた陰謀家たちは、それが彼らですからね。彼らはそうしようとしているし、好むと好まざるとに関わらず、またそれを知ると知らざるとに関わらずおそらく既にエアロゾル(霧粉体)化で世界の人々を汚染し毒しています。正にそうなると、聖書預言のページにある通り。

ふむ。。。ふむ。。。と言わせますね。私は5つしか話していません。かなり上手く話せたと思います。まだ時計を見ないでください。まだ終わっていませんから。でも5つだけを見ていきました。で、この最後の2つで終わります。なぜならこれが「最後の藁」だからです。これが最終的な医薬的解決だからです。人類の滅亡、絶滅、抹殺。なぜか? 神のご創造物だからです。彼らは、地球を滅ぼそうとしている。神の創造された地球だから。彼らは人類を滅ぼそうとしてる。なぜか? 神は人間を、ご自分の似姿に創造されたから。ですからサタンは、私が呼ぶところの陰謀家たちに悪魔的に憑依し、自分の目的に従わせます。彼の目的とは? 盗み、殺し、滅ぼすこと。(ヨハネ 10:10 参照)

サタンは、神の創造物を滅ぼしたい。サタンは、神の似姿に創造されたあなたやわたしを滅ぼしたい。彼は今、それをしています。神は、終わりの時にサタンがそうすると、御言葉で仰っています。イエスが「ヨハネの福音書13章」で14章でもですが、基本的に仰っているのは、事が起こる前に、今からあなたがたに言うておきます。起こったときに、わたしが『わたしはある』であることを、あなたがたが信じるためです。(ヨハネ 13:19・14:29)

言い換えると、因みに、他のどんな宗教文書も、敢えて、起こる前に何が起こるか伝えません。それができないからです。神だけがそれを仰れます。「わたしは、これから何が起こるのか、明確に詳しく説明します。これらのことが起こり始めたら、あなたがたは信じます。」「待って。神は、これが起こると仰ってなかった?」そう、仰った。ここ御言葉にあります。「神はそう仰ってたよね?」そう、仰いました。ここ御言葉にあります。「イスラエル全家のことをどこかで読んだ気がするんだ。」そう、ここここ御言葉にあります。

結論です。終わりの時のあらゆる「最後の藁」は、既に展開されていて、限界点に達するのは時間の問題です。もういつでもそうなると思います。本当にそう思います。繰り返しますが、さらにの話は、御

心なら来週します。でもいつも通り、福音/ゴスペル、イエス・キリストにある救いの良い知らせで締めくりたいと思います。

イエスは仰いました。「**わたしがその道で、その真理で、その命なのです。わたしを通してでないとも御父のみもとへはいけません。**」(ヨハネ 14:6)

イエスが救える唯一のお方です。なぜなら、地上に来られ、(十字架で) 死なれ、葬られ、3日目によみがえられたのはイエスだけだからです。そして良い知らせは、イエスはまもなく、もうまもなく戻って来られる事。それが福音です。

「救いの ABC」とは？ 私はおそらく毎週このことを強調しているし、これからもそうしますが、ある週、しなくなる時がきます。私はここにいないでしょうから。あなたもいない方が良いですよ。「救いの ABC」は、主があなたに、イエスを誰かに分かち合う深い特権を与えられた時に、あなたを備えるシンプルな子どもにでも分かるツールです。

A：シンプルに自分が神に背いた罪びとだと Admit/認める または、Acknowledge/認識する。

自分が罪びとだと認めると突如、救い主が必要だと気づきます。そこがポイントです。

**ローマ人への手紙 3章 10節**に書かれています。

**「義人(正しい者) はいない。一人もいない。」**

誰もが正しくありません。あなたは自分が良い人間だと思かもしれませんが、(神の御目から) 十分良くはありません。**ローマ人への手紙 3章 23節**がその理由です。「**すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず、**」私たちは誰しも、罪びと(的外れ)です。私たち誰しもが、神の完璧な義の基準的に届いていないのです。それが「罪」の意味です。実際アーチェリー用語で、あなたは的を外している、届いていない。的に当たっていない、罪を犯した。次に、ローマ人への手紙 6章 23節、法廷で例えるなら、これは一種の判決段階で、今、あなたは罪が確定しました。判決段階に入ります。悪い知らせです。あなたは罪が故に、死刑確定です。死の罰則です。

**「罪の報酬は死です。」(ローマ 6:23a)**

しかし、良い知らせがあります。

**「神の賜物は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」(ローマ 6:23b)**

多くの人が耳にしたことがあると思います。ABC は上下逆だとか、表裏、左右だとか。もうその辺ですかね。どうかどうか、「救いの ABC」がシンプルだから、どれだけの人たちがイエス・キリストの救いに辿り着いているか。これが良い知らせなのです。誰かが、あなたの身代わりに死んで、あなたの代わりに血を流して下さった。血を流すことがなければ、罪の赦しはありません。(ヘブル 9:22)

イエスはあなたの身代わりに血を流し、あなたのために、あなたの代わりに死んで下さったのです。あなたが永遠でイエスと共に生きるように。それが良い知らせです。イエスが負債を払ってくださいました。イエスが全てして下さったのです。私の負債でした。イエスは自分の負債ではないのに、全額支払い、私を買い戻して下さった。私は自分のものではありません。イエスが全てを懸けて、その代価を支払って下さったのです。イエスをご自分がそれを支払い、私に贈り物として差し出して下さっています。それが贈り物です。意味深ですが、あなたが支払うなら、贈り物ではなく、購入したものです。イエスが支払われたのです。贈り物です。私は受け取るだけ。イエスが支払った贈り物を。

**「神の賜物は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」(ローマ 6:23b)**

贈り物ですからね。「エペソ人への手紙 2章 9節」行いによるものではありません。あなたが獲得するの

はありません。あなたが支払うのではなく、あなたが行うではありません。あなたはそれに値するようなことは何もしていません。それは神の賜物（贈り物）です。行いによるものではありません。だれも誇ることはないためです。この恵みのゆえに、信仰によって救われるのです。（以上 **エペソ 2：8-9** 参照）

それがBの生じるところです。

B：信仰を持って、イエス・キリストが主であると 心で、Believe/信じる。

**ローマ人への手紙 10章9-10節、**

**「あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」**

そしてCです。これはまたすぐに見ます。

C：主の御名を Call/呼び求める、Confess/告白する。

再度、**ローマ人への手紙 10章9-10節、**

**「あなたの口でイエスは主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせたと信じるなら、あなたは救われるからです。」**

これをよく話しますけど、これを言うのに飽き飽きされているならごめんなさい。でも、全ての膝が屈められ、全ての舌が告白する日が来ます。（**ピリピ 2:10-11**）

でも彼らがそうする時は、救いではなく、永遠の天罰の時です。全ての膝が屈められ、全ての舌が告白する前に、今、イエス・キリストが主であると告白するなら、救いのためです。あなたは救われます。

最後に、**ローマ人への手紙 10章13節、**

**「主の御名を呼び求める者はみな救われる。」**

かもしれない、そうなりうる、そうなるべきだ、ではなく、救われるのです。陪審員はもういません。判決は出ています。刑は執行済です。「良い知らせだ。あなたの死の罰則は支払われた。あなたは自由だ。」

**子（イエス）があなたがたを自由にするなら、あなたがたは本当に自由になるのです。（ヨハネ 8:36）**

それが福音/ゴスペルです。「まあ、シンプル過ぎますよ。」そう仰るのが問題だと思います。きっとシンプル過ぎるでしょう。私たちの罪の性質、つまりアダムの性質には、「自分の力で獲得しなければならない」という欲求が生まれつき備わっていて、そう教えられてきたからです。でしょ？ 特に、毎年クリスマスで。ええ、クリスマスと言いました。失礼。もう少しで最後までいけたのに。あまり嫌味にならないようしようと思っています。神に、私がそんなに嫌味を言わないようお願いしています。でも、私は嫌味なのです。それが問題ですけど、毎年、、どうか最後まで聞いて下さい。毎年「サンタクロースが街にやってくる。彼にはリストがあって、あなたがいたずらしたか、いい子にしていたか確認するために2回チェックするよ。」問題が分かりますか？ ですから、あなたがいたずらをしていたら、あなたに贈り物はない。いい子にしていたのなら、おお、贈り物があります。私たちは、贈り物とは何かということに、歪んで、汚れて、ねじ曲がったバージョンを取り入れてきてしまいました。それをイエス・キリストの福音に置き換え、何かを付け加えたのです。「そう、恵みのゆえに救われたって知ってるけれど、でも…」いいえ、イエスは仰いました。「完了した。」（**ヨハネ 19：30**）以上。コマで続きはありません。「完了した、しかしながら、、、」ではありません。「もし~なら、完了した。」でもありません。「完了した。」です。終わったのです。そう、私がせねばならないことは何もありません。既に完了しています。「私に何かできることは、、、」いいえ！！「じゃあ、、、こんなのは、、、」いい

え!!!「ええ、でも、、、」いいえ!!!「自分に議論しているのですか?」そうです。きっと今日ここに来られている人か、オンラインで見ている人で、あなたが子どものようにならなければ、天の御国には入れません。どうかどうか、私は切に願います。あなたが、イエス・キリストの御名を呼び求めたことが心で信じたことがないのなら、今日、私は本当に心から願います。今日があなたの救いの日です。最後のひとつ、それから今日の「しかし、神は。」で締めくくります。愛を込めてこれを言います。でもこれが愛にあつての真理です。私は自分自身にも言います。福音を複雑にするのは、みんなで止めませんか? 福音を複雑にするのは止めましょう。福音に追加するのは止めましょう。それは福音じゃありません。「牧師さん、どういう意味ですか?」ええ、私は開けるべきじゃなかった缶の蓋を開けてしまいました。福音なのです。フォックスニュースの福音ではなく、共和党の福音でもなく、アメリカの福音でもありません。もう一度言う方がいいですけど、機会均等違反者として、民主党の福音でもありません。一体、何をしているのですか? イエス・キリストの福音ですよ。福音に付け加えるのは止めて下さい。条件をつけるのは止めて下さい。複雑にするのは止めて下さい。シンプルな、イエスだけの福音です。以上。OK。気分が良くなりました。

では「しかし、神は。」の証に入りましょう。この証を選んだのは、さらに適切に語られた言葉としてです。このような時期にふさわしいと思いました。繰り返しますが、御心で来週、主が許可を下さるなら、このことについて、アップデートを捧げるかもしれません。これは本当に深刻だからです。クリス・ルゲンベールさんからです。

「JD 牧師、もうあなたの動画を見て数年になります。私はこのとても暗い時代に、神の約束に集中させてくれるからあなたの預言・アップデートが大好きです。このようなアップデートは、あなたに負担をかけることは分かっています。毎週ありがとうございます。私を含め、多くの人々に励ましと指針を与えて下さっています。最近の数回のアップデートで、あなたは今年がその年になるかもしれないと仰っていました。多くの方があなたを日付設定だと非難するでしょうね。私はそうは思いません。私は心からそうやってほしいです。しかし、たとえそうでなくても、携挙は神の完璧なタイミングで起こると私は知っています。あなたがなさっている全てに感謝します。クリスより。」

クリス、ありがとう。カポノ、上がってきてください。皆さんご起立ください。祈りと賛美で締めくくります。

天のお父様、感謝します。今日はちょっと厳しい内容でした。私にとって、この素晴らしい、愛溢れる教会の牧師として、毎週この説教壇に立つ深い特権を知っています。私にはこの感覚があります。「私がこのことを話さなければ、誰が話すのか?」このようなことは話したくありませんが、イエスよ、あなたの愛が私を掴み、私を突き動かします。

エレミヤのように、私の中で燃え盛る火のようです。(エレミヤ 20:9 参照)

ですから、せねばなりません。おお、決して人気はないでしょう。いつも通り、様々な悪意ある反応が返ってくるでしょう。でも主よ、終わりの時、問題なのは、あなただけです。あなたを喜ばせているなら、問題ではありません。主よ、私たちが誰ひとりとして、特に私自身が、人を喜ばせていて、神を喜ばせていない、という者に数えられませんように。もし人を不愉快にさせるとしても、おお、主よ、あなたが喜ばれるのなら、、、それを良しとします。おお、主よ、お喜びください、主が祝福されますように。主よ、どうか早く来てください。マラナタ。イエスの御名によって、アーメン。

-----  
メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii 筆記 hukuinn7